



糖尿病の患者は多く、当院は予防のため一般向けの糖尿病教室を原則、毎月第二水曜日の午後二時から開くほか、糖尿病療養士の資格を持つ看護師が外来患者に個別指導を行います。

糖尿病内科などの担当医師や管理栄養士などと連携し、治療方針に沿って幅広い視点で指導します。患者負担を減らすため、診察日の待ち時間などを利用します。日常生活で気をつけてほしい点などを二十分ほど話し合いますが、気になることを相談しやすい雰囲気づくりを心掛けています。

看護部 糖尿病指導

37



▲ 足に携帯型検査器を当てると、短時間で神経障害がないか調べることができる＝名古屋市中区の中日病院で

中日病院 名古屋市中区丸の内3の12の3。☎中日病院 052(961)2491

てて食事の注意点、効果的な運動方法などを決めます。家族が同席できると、食事メニューの改善も実行しやすくなります。

理想論だけでは難しい場合も多く、その人に合った目標や方法が大事です。過剰な糖質制限など、頑張りすぎると逆効果になることも。無理せず、続けられる方法を提案するよう努めています。

糖尿病は自覚症状がなくて気づきにくく、手遅れいからと放置すると、知らない間に悪化し、「しめが大事。必要に応じて携」の頭文字で覚える「神帯型の神経伝導検査装置経障害」「網膜症(目)」も使います。装置を足に「腎症」の合併症を起こす危険があります。当てるだけで短時間で異常がないか分かります。部長・糖尿病療養指導士 水野美咲子看護部副 神経障害は悪化するま 血糖値の改善目標を立 ・談)

無理なく続ける方法を